

# Honda の軽を変える。日本ののりものを変える。

軽自動車の開発はレースへのチャレンジに似ています。サイズも排気量も決められた中で高みを目指す。問われるのは、まさに技術力です。

N BOX の開発は、ひとつのモデルとしてではなく、Honda 軽自動車事業全体の見直しからスタートしました。

競争力の高い共通プラットフォームをつくり、それをベースに、魅力ある軽自動車ラインアップを新たに構築する。すなわち、Honda の軽を根底から変えることが開発のねらいでした。要となるのはプラットフォームです。

サイズが決まっているのなら、技術力で驚きの空間を創出してみせよう。排気量が決まっているのなら、技術力で圧倒的な走りと燃費を両立してみせよう。

そうした志のもと、世界を知る Honda の本気が、軽自動車の概念には収まりきれない、革新のプラットフォームを完成させたのです。

N BOX は、革新プラットフォームを用いた第一弾モデル。

広さという普遍的価値を前面に押し出し、軽自動車サイズに Honda ミニバンの魅力を凝縮しました。ファーストカーとして、幅広いお客様に親しんでいただけるものと確信しています。

また、第二弾としては、行動の幅を大きく広げる新モデルを予定しています。

軽を変える。日本ののりものを変えてゆく。

N BOX からスタートする Honda の新提案、N シリーズにどうぞご期待ください。

開発責任者 浅木 泰昭



**浅木 泰昭(あさき やすあき)**  
(株)本田技術研究所 主任研究員

1981年、(株)本田技術研究所入社。  
エンジンテストグループに配属され、  
翌年、F1第二期参戦へ向けた立ち上げから携わる。  
その後、エンジンテストPL、2003年インスパイアLPL代行を経て、  
2004年企画室に異動し、ニューモデルの企画等を担当。  
今回、N BOX、および、Nシリーズ共通プラットフォームのLPLを務める。  
趣味は釣り、ゴルフ、温泉めぐり。  
愛車はアコード、フィット。